

心新たに 新年のスタートを

校長

新年明けましておめでとうございます。保護者・関係者の皆様方におかれましては、希望に満ちた平成31年の新春をお迎えになりましたことを心よりお慶び申し上げます。



さて、学校は無事に冬休みを終えて、本日第3学期をスタートいたしました。今学期も子どもたちが、登下校の交通安全に注意し、風邪やインフルエンザの予防にも努めながら毎日元気に登校してくれることを願っています。また、受験の真っ直中にある中学部3年生には、希望する進路の実現に向けて最後の頑張りに力を尽くし、一人ひとりがより良い結果を出してくれることを祈っています。

始業式には、「3学期は、短い学期ですが、1年間のまとめや締めくくりをするとても大事な学期です。1学期や2学期を振り返って、自分が頑張ったこと、頑張りたいことを整理し、その中から目標やめあてを決めて、日々努力し充実した3学期にしましょう。」と話しました。3学期は、約10週間と短時日にもかかわらず行事も多く、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われるように、あっという間に過ぎ去っていきます。そのような1年の始まりにあたり、本校教職員は、これからの社会に大きく夢を抱いて羽ばたく子ども達に、「確かな学力」「豊かな心」「健康・体力」を柱とする「生きる力」を育むために、子どもたち一人ひとりを深く理解し、あたたかさや厳しさを大切にしながら、日々の励ましを通して明日への希望のある充実した学校生活を送らせたいと考えております。

保護者・関係者の皆様方におかれましては、今学期も変わらぬご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

★ 教職員についてのお知らせ

12月から西原勝克事務局長が着任していますので、お知らせいたします。

ピックアップの安全にご協力を!

日々行っていただいておりますピックアップについてですが、事故防止のため、路上ではなく、学校敷地内でお待ちいただくよう、お願いいたします。

具体的には、以下の場所となります。

- ① 校門正門（黒門）と緑門との間スペース
- ② 正面玄関から東玄関の間の内側スペース

子どもたちの日々の安全確保のために、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

また、1月より学校周辺の路上駐車規制が厳しくなりました。くれぐれもご注意くださいませう、お知らせいたします。

仲が深まったフレンドリー集会

12月13日（木）の5時間目に小学部でフレンドリー集会を行いました。フレンドリー班対抗で、「フラフープくぐり」と「新聞島とり」を小学部全員で楽しみました。



「フラフープくぐり」では、フレンドリーグループで手をつなぎ、フラフープを順番にくぐっていきました。フレンドリーリーダーから始まって、端にいる人まで行ったら折り返します。フラフープがフレンドリーリーダーに戻ってくると、グループみんなで大歓声を上げて喜んでいました。また、途中で、うまくくぐれない子がいた時には、応援して励ます姿が見られ、心が温かくなりました。

「新聞島とり」では、フレンドリーグループの約20人が10枚の新聞紙の上のり、じゃんけんをしてその新聞紙を取り合いました。じゃんけんが新聞紙が増えたり減ったりするたびに子どもたちは大興奮でした。どのグループも、5、6年生が中心となってゲームを進めており、頼もしく思いました。

今後も、このような異学年交流を通して、互いの仲を深め、学校生活がより楽しく充実したものになればと思います。

ミッション達成！現地校訪問

5年生は、A組が11月15日（木）にセントヴィンセンツ校を、B組が11月20日（火）にジャーマン校を訪問し、それぞれの学校の児童と交流を図ってきました。

A組、B組ともに訪問に先駆けて、コミュニケーションをたくさんとれるように、「ペアの名前を呼ぶ。」「好きな〇〇を聞く。」など5つのミッションを個人で設定しました。

セントヴィンセンツ校では、葛飾北斎の「富嶽三十六景」の「神奈川沖浪裏」についてコンピュータを使って調べ学習をした後、絵の具を使って実際に絵を描きました。

ジャーマン校では、体育、音楽、図工の3教科を体験しました。体育では、ボール運動をし、音楽ではリズムを取りながら歌い、図工では組紐を編みブレスレットを作りました。

どちらの学校においても、児童はミッションを意識し、積極的にコミュニケーションを図っていました。ミッションを達成し、たくさん交流を図る中で、友達ができたり、他文化を知ることができたり、英語学習への意欲を高めたりと、大充実の現地校交流となりました。



お年寄りの笑顔に接して

中学部3年生は、11月28日（水）に福祉施設を訪問しました。国語や総合の授業で、訪問の意義や歓談の話題について話し合っていたので、お年寄りの心に響く訪問になりました。

まず、ステージで、けん玉、ジャグリング、リフティング、ハンドベル演奏、組体操、「威風堂々」の合唱奏の順で出し物をしました。お年寄りの方々は一つひとつの出し物に温かい拍手を贈ってくださり、ハンドベルの「ホワイトクリスマス」の演奏から一緒に歌い、最後の「威風堂々」では、会場が一つになって盛り上がりました。

次に、歓談の時間では、生徒達がお年寄りに一生懸命話しかけたり、折り鶴の折り方を教えたりしていくうちに、次第に笑顔になっていく方が増えていきました。中でも、今まで全く心を開かなかったお年寄りが笑顔で生徒と話をしている姿に、職員の方が「奇跡だ。」「写真を撮らなくては。」と言ってくくださったことに、訪問して良かったと嬉しくなりました。

生徒達は、人の役に立てたことに喜びを感じ、温かい気持ちで帰路に就きました。



発見や驚きの連続!! 学び多き校外学習

小学部4年生は、11月29日（木）に校外学習でデイドコットにある下水処理場と鉄道博物館に行きました。

下水処理場では、私たちの生活に欠かせない水が、どのように処理されてきれいになっていくのかを学習しました。水道管から流れる水量の多



さ、沈殿やろ過、バクテリアの力による分解などが繰り返し行われる処理、そして1分間に60回も行われる水質チェックなど、実際の処理の様子を見学し、子ども達は処理の大変さに驚くとともに、働く人の努力にも気付くことができました。

鉄道博物館では、イギリスの蒸気機関車の歴史について学習しました。子ども達は、信号を変えるために重いレバーを動かしたり、蒸気機関車の運転席に上がり操作方法を教えてもらったり、修理中の蒸気機関車を見学したりと、実際に自分の目で見たり、手で触れてみたりしないとわからない、臨場感あふれる体験をすることができました。

校外学習後には、見学してわかったことや考えたことをリーフレットにまとめました。一人ひとりの発見や驚き、学びがぎゅっと詰まったオリジナルリーフレットができあがりしました。

はじめての現地校交流

小学部1年生は、12月6日（木）にWest Acton Primary Schoolへ現地校交流に行きました。

現地校の子どもたちによる歓迎の歌でスタートした交流会。英語だけで繰り広げられる会に、緊張した面持ちで、やや不安そうな様子の子もたち。その後、3グループに別れ、2つの活動をしました。1つ目は、英語の絵本の読み聞かせです。子どもたちは、現地校の子どもたちが読み聞かせてくれる絵本を真剣に聞き、内容を理解しようとしていました。2つ目は、オリジナルのスノーマン作りです。作り方の説明も英語でしたが、周囲を見ながら手順よく作っていました。現地校の子が気付いて話しかけてくれたり、自分からジェスチャーや単語などで話しかけると、コミュニケーションをとる姿も見られました。

「楽しかった。」と、とても充実した時間を過ごせた子どもたち。帰校後、「自分からもっと話しかけたかった。」「2月の交流では、もっと話せるように英語の勉強を頑張る。」という話が聞かれ、英語学習へのモチベーションも上がったようです。

